

2012

# 電子書籍による学校案内の制作

Salesian Polytechnic e-Brochure

AD13 大高 未央  
指導教員 西野 隆司

## 1. 研究目的

パソコンや電子デバイスの普及に伴い、電子書籍をはじめとする電子媒体の普及が急増しはじめている。そこで、現在は紙媒体として配付されている本校の学校案内を電子書籍化するプロセスを通じ電子書籍の可能性について調べ提案を試みる。

## 2. 調査と分析

2009年度の電子書籍の市場経済規模は574億円。2010年度には650億円に拡大と、近年電子書籍の普及が広まり媒体の普及率も年々上昇していく事がわかった。絶版や使い方によっては女子寮などのプライバシーの問題も扱いやすくなる事から、学校案内に使用するメリットは大きい。紙では表現しきれなかった動きや、文字を拡大するなどの機能が出せれば、より多くの人々に興味を持ってもらえると考えた。

### ●電子書籍のメリットと人々がとらえているもの

- ・本を置くスペースがなくなる
- ・文字の検索が出来る、拡大などの機能性がある
- ・コストが抑えられる事で低価格化
- ・絶版がなくなる

### ●女子生徒がサレジオ高専について抱いているイメージ

- ・そもそも高専とは何なのか広く知られていない
- ・理系分野が多く、専門的で堅苦しい感じ
- ・男子校のイメージ

## 3. コンセプトの立案

「紙では表現できないもの」+「女子中学生に馴染み深いデザイン」電子書籍のメリットを生かしつつ、女子中学生が興味を抱くような対象にスポットを当て、また全体のデザインも雑誌等を参考にすることで最後まで楽しめるようにする。

## 4. デザイン展開

最初は男子中学生もターゲットユーザーとしていたが、男子生徒にはすでに充分知られている事から、今回は女子生徒にユーザーを絞った。そこで女子中学生に最も読まれているという雑誌『seventeen』を参考にしたところ、最近の中学生も非常に洒落にこだわっている事がわかった。雑誌の雰囲気参考にすることで、最後まで興味を

持てる雑誌風デザインを採用した。これを学校説明会等にきた保護者と中学生に端末を渡し、パンフレットには載せる事ができない女子寮の情報や、女子に支持のある学食やトイレの情報を見てもらう事にする。一方で、未だ電子書籍が研究段階にあり、映像や文字の拡大等の機能については今ある設備では制作できない事がわかった。電子書籍化の際レイアウトが崩れるため、JPEG等の画像を貼りつける形に落ち着く事となった。

## 5. 完成図



## 6. 結論

女子中学生には談笑しながら読んでもらえ、女子が好きそう、他校の物より密度があるという感想を頂いた。一方で説明文が少ないという声もあり、より写真と文字のバランスが求められた。案内を見て、中学生が憧れる学食がある事や、学科の作品、雰囲気など新しい発見を楽しんでもらえたが、発信したイメージと受け取った印象が異なる事にも気を配る必要があると感じた。研究段階のため、電子書籍のメリットを全て出せた案内物を制作する事が出来なかった。次々と新たなバージョンや方法が登場し、クオリティを高める可能性が広がっている。さらなる方法を試せばよりメリットを生かしたものになったと感じた。更にエディトリアルデザイン向けの機能が充実する事が望まれる。

## 7. 参考文献

- ”電子書籍を巡る動向をチェックする”  
<http://digital-book.sublimeblog.net/>  
”@peps! ランキン〜女の子の流行りモノ No.1”  
<http://ran.peps.jp/>